

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2001-527146(P2001-527146A)

【公表日】平成13年12月25日(2001.12.25)

【出願番号】特願2000-526575(P2000-526575)

【国際特許分類】

C 08 L 77/00 (2006.01)

C 08 K 3/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 77/00

C 08 K 3/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

62重量%の固有粘度が1.65であるポリアミド12と、4重量%の可塑剤と、12重量%のショアD強度が42で、融点が147のポリエーテルブロックアミド型の熱可塑性エラストマーと、22重量%のカーボンブラックとから成る帯電防止ポリアミド組成物であって、

上記カーボンブラックのASTM D3037-89で測定したBET比表面積が20~100m²/gで且つASTM D2414-90で測定したDBP吸収能が125~250ml/100gであることを特徴とする、SAE XJ2260規格に記載の試験方法で測定した表面抵抗が10²~10⁴オーム(Ω)で、ISO6603-2:89規格で測定した多軸耐衝撃強度(J)が50で、ISO規格1133:91規格で測定した流れ指数が6~8g/10分である帯電防止ポリアミド組成物。

【請求項2】

下記(2)~(10)の中から選択される少なくとも一つの添加物をさらに含む請求項1に記載のポリアミド組成物：

(2)衝撃吸収材

(3)燐酸、亜燐酸またはヒドロ亜燐酸またはこれらのエステルまたは塩あるいはこれらの混合物

(4)着色剤

(5)カーボンブラック以外の顔料

(6)染料

(7)酸化防止剤

(8)耐UV安定化剤

(9)連鎖制限剤

(10)補強材

【請求項3】

可塑剤がベンゼンスルホニアミド、ヒドロキシ安息香酸エステル、ラクタム、テトラヒドロフルフリルアルコールのエステルまたはエーテル、クエン酸のエステルおよびヒドロキシマロン酸のエステルの中から選択される請求項1または2に記載のポリアミド組成物

。

【請求項 4】

可塑剤が n - プチル - ベンゼンスルホンアミド (BBSA) である請求項3に記載のポリアミド組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリアミド組成物の製造方法であって、共混練機型の押出機で、溶融帶域に上記カーボンブラックを導入し、上記ポリアミドのペレットの一部を供給ホッパーから、他の一部はカーボンブラックと一緒に導入することを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリアミド組成物からなる物品。

【請求項 7】

押出成形で得られる請求項6に記載の物品。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリアミド組成物で作られた静電気が最も蓄積する層を有する单層または多層のチューブ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

【表2】

実施例のポリアミド組成物	流れ指數 (g/10分)	表面抵抗 (Ω)	多軸耐衝撃性	チューブへの衝撃
			吸収された全エネルギー(J)	破断した数/10
1(対照)	>1.2	>1.0 ¹³	≥60 強韌	0C/10
2(比較例)	2~4	1.0 ² ~1.0 ⁴	≤10 脆い	≥5C/10
3(本発明)	6~8	1.0 ² ~1.0 ⁴	≥50 強韌	≤1C/10